

## ご 挨拶

本研究所は、1992年4月に千葉敬愛短期大学環境情報研究所として創立されました。1997年4月の敬愛大学国際学部開設に伴い国際学部附属研究所となり、創設以来18年間、環境および関連分野の研究・調査、情報収集・処理、ならびに環境・情報教育に関する事業を行うことによって、国内外における学術研究・教育の推進ならびにその発展に寄与することを目的として、日夜活動을續けてまいりました。

この間、基幹研究として、京葉工業地帯および成田国際空港に隣接する本研究所の地理的特色を生かした「千葉県北部における酸性雨の地域的特性に関する研究」を取り上げ、学術研究、本学学生に対する環境教育、および地域社会への貢献等、各方面において広くその役割を果たしてまいりました。この研究にあたりましては、地域研究員および一降雨ごとに酸性雨を採水し、当研究所にお送り頂いた環境モニターの皆様には多大なご協力を賜りました。

また、共同研究としては、平成5年度 日本生命財団研究助成による「成田国際空港の功罪：空港開設にともなう環境の変化と人間生活との関わりに関する研究」、ネパールにおける2006年から2009年にかけての5次にわたる「ネパールの暮らしと環境」に関する学術調査等に取り組み、地道な研究成果を積み上げてまいりました。

一方、一般研究におきましては、その内容は、自然環境、環境教育、情報科学、社会環境、文化環境、国際環境等の多義にわたり、研究対象地域も日本国内はもとより、中国、フィリピン、ベトナム、ネパール、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカと、まさに全世界に広がってまいりました。

これ等の研究成果につきましては、研究所創設以来毎年刊行の機関紙「環境情報研究」、毎年開催される「環境セミナー」等を通して、研究者および市民の方々に公開してまいりました。

このように、本研究所は、皆様のご協力を得ながら研究活動を継続してまいりましたが、2009年4月の国際学部の稲毛キャンパス移転に伴い、2009年度をもって廃止されることになりました。

これまでの永きにわたり、本研究所の活動に対し、格別のご支援を賜りましたことを、衷心より厚く御礼申し上げます。

なお、今後の研究活動につきましては、新設の総合地域研究所に引継がれることになりましたので、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

2010年3月

環境情報研究所

所長 中村 圭三